

証券コード：7369



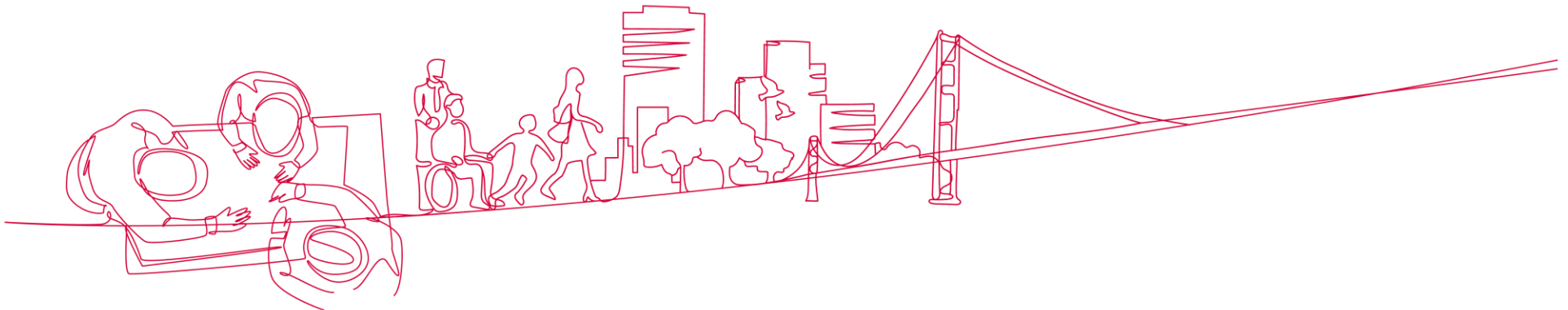
2026年6月期 第1四半期 決算説明資料

2025年11月14日（金）

株式会社メイホーホールディングス
代表取締役社長 尾松 豪紀

変わる勇気が、
未来を変える。

- 2026年6月期 第1四半期 業績ハイライト
- 2026年6月期 通期業績予想
- 今後の取り組み
- Appendix



2026年6月期 第1四半期 業績ハイライト

- ・ 売上高 2,572百万円（前期比 299百万円減）
- ・ 営業損失 △125百万円（前期比 89百万円減）
- ・ EBITDA 5百万円（前期比 96百万円減）

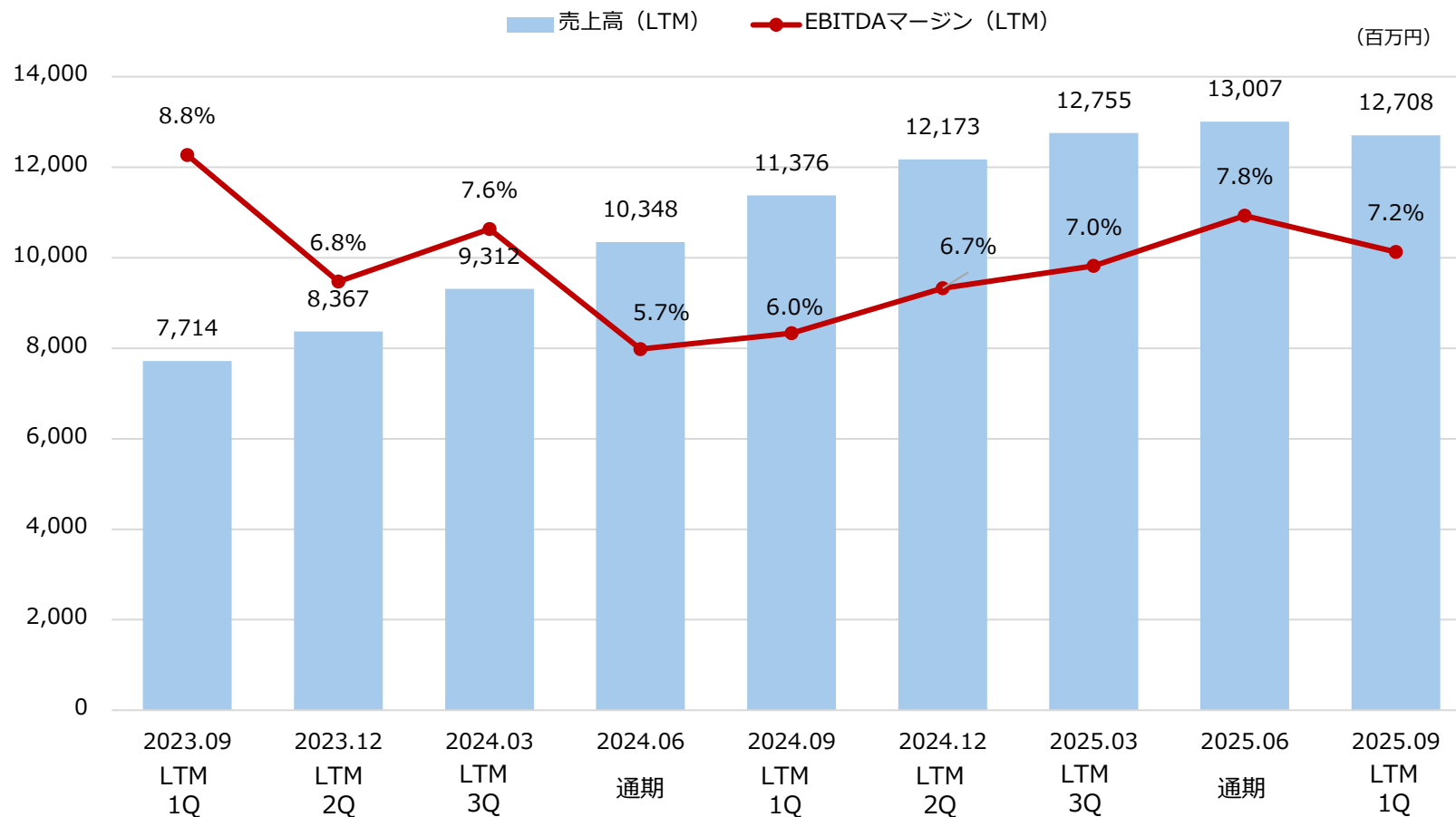
（百万円）

	2025/6期 1Q	2026/6期 1Q	増減額	増減率 (%)
売上高	2,872	2,572	△299	△10.4
営業損失	△36	△125	△89	-
EBITDA	101	5	△96	△94.6

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

(参考) 直近12か月間で見える業績推移

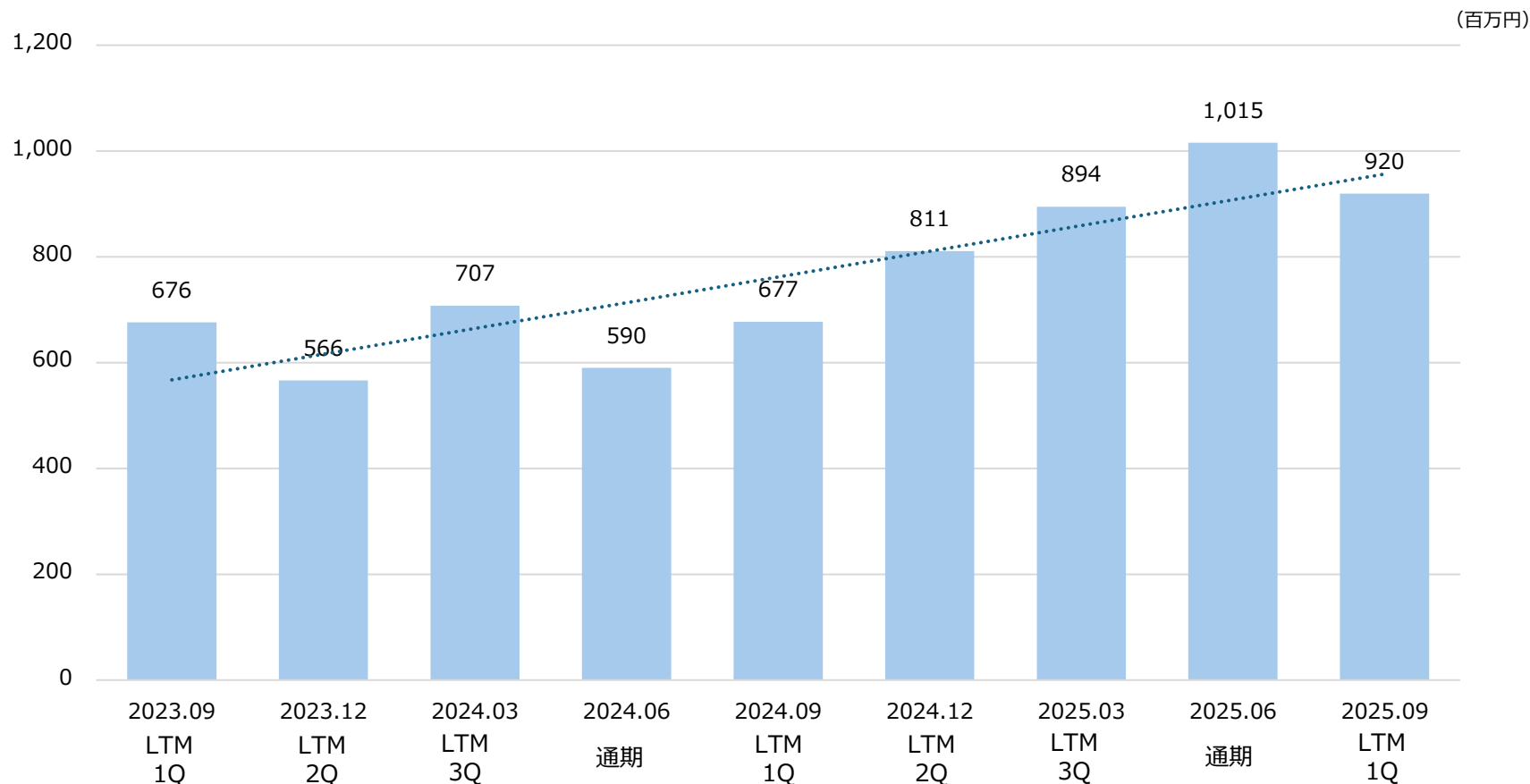
- 建設事業の一時的な減速により売上高（LTM）、EBITDAマージンは低下



※ LTM（Last Twelve Months）は、直近12か月間に換算した実績値
LTM = 今期四半期実績[累計] + （前期通期実績-前期同四半期実績[累計]）

(参考) 直近12か月間で見えるEBITDA推移

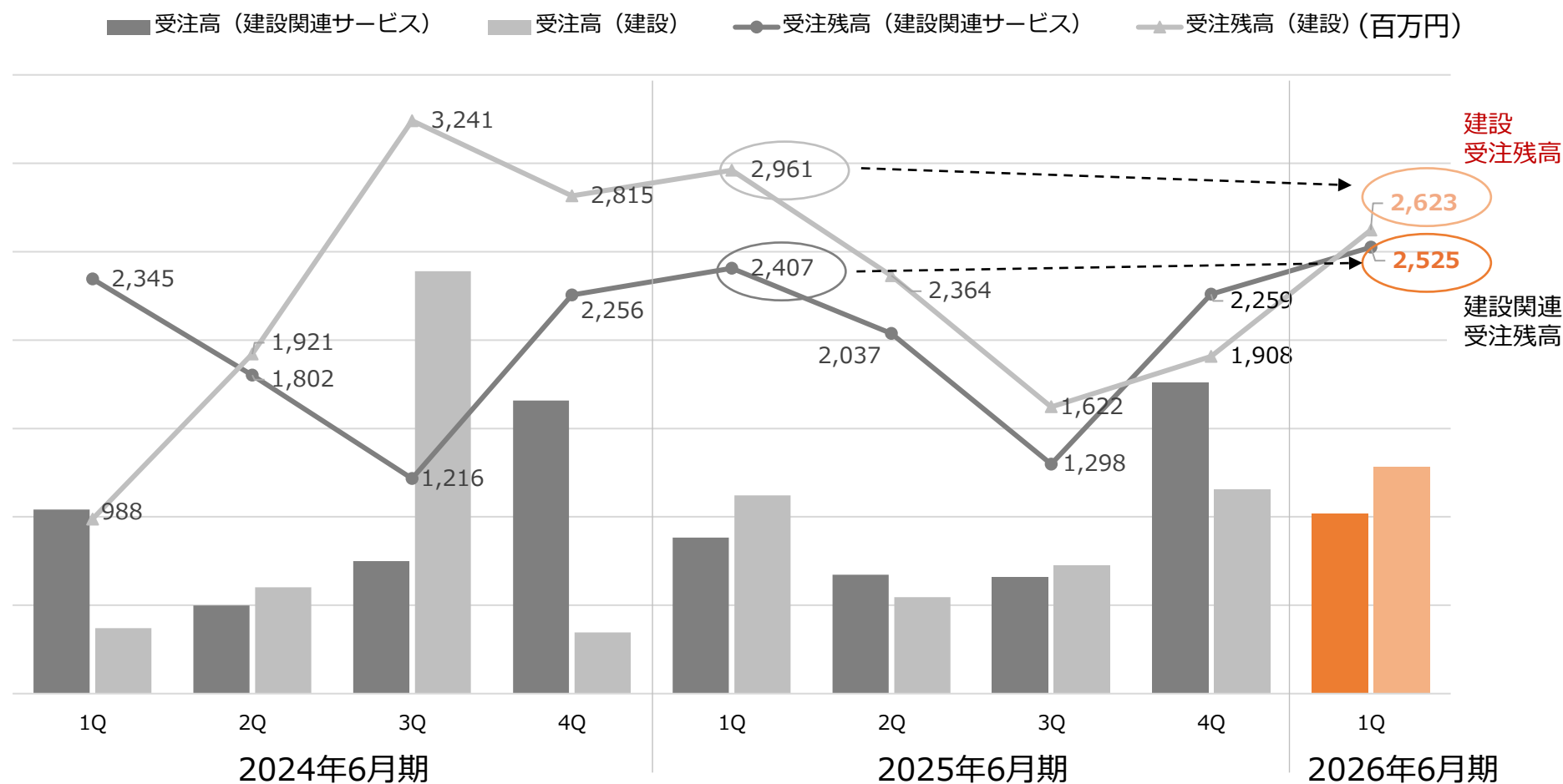
- 建設事業の一時的な減速によりEBITDA（LTM）は減少



- ※ 1 LTM（Last Twelve Months）は、直近12か月間に換算した実績値
LTM = 今期四半期実績[累計] + (前期通期実績 - 前期同四半期実績[累計])
- ※ 2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

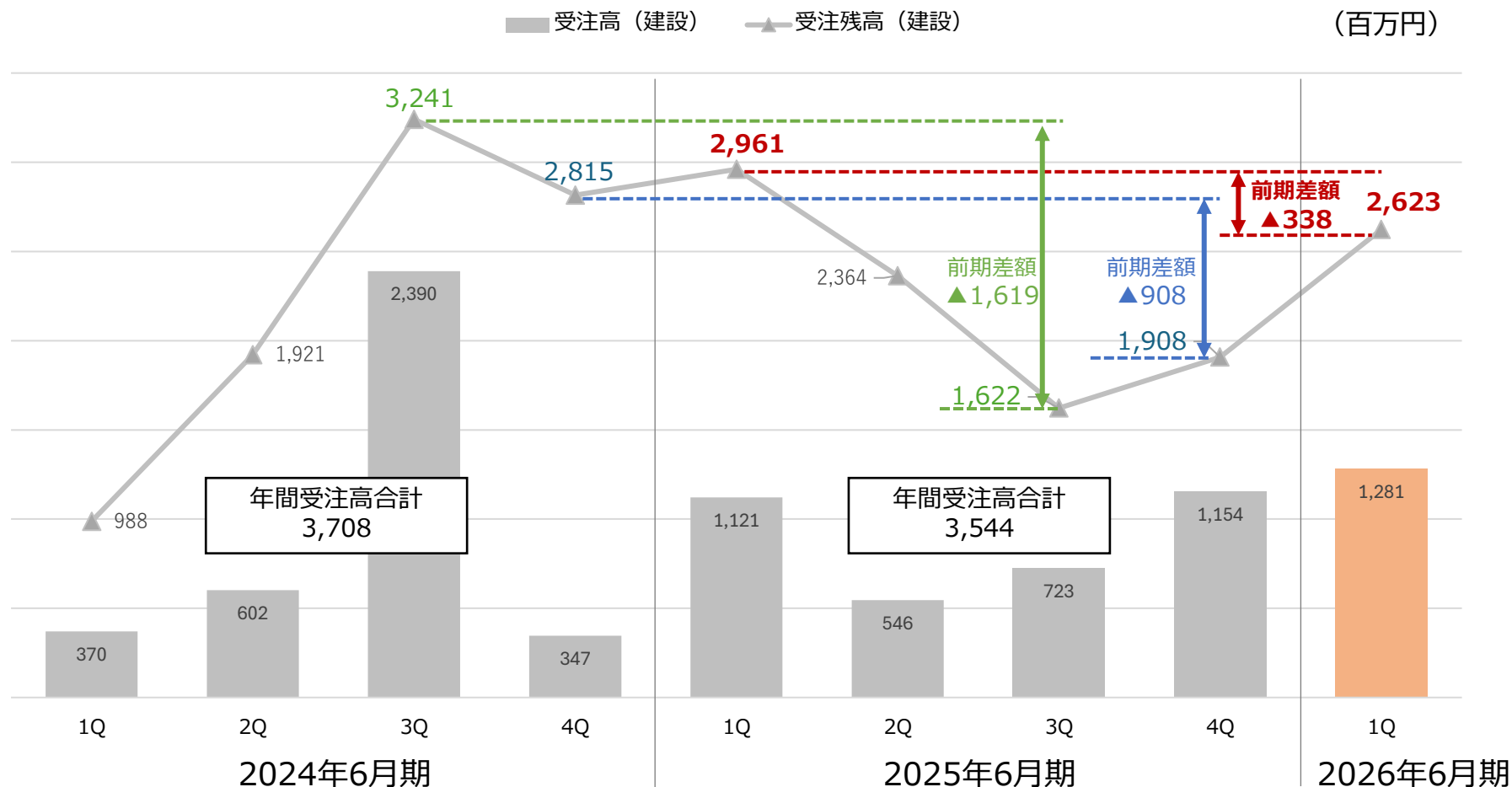
受注高と受注残高の推移

- 受注残高は、建設関連は前期比で増加、建設は前期比で減少も第1四半期で受注が進み足元の受注残高は回復基調



※2025年6月期4Qの受注残高について集計の見直しを行っております。

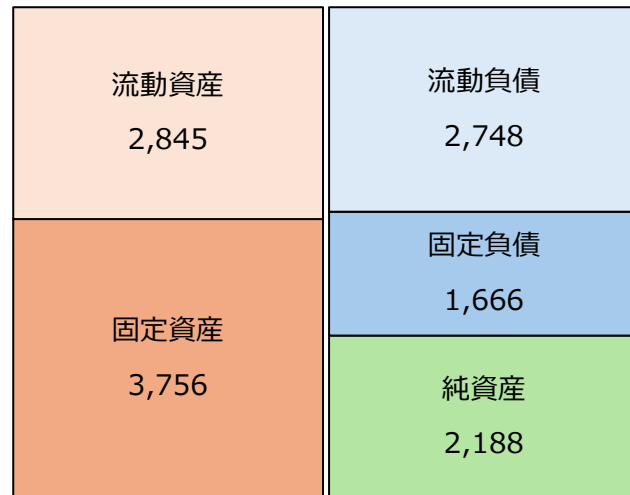
- 大阪・関西万博に伴う地下鉄関連工事の制限により発注や施工が一時的に中断したものの、足元の受注残高は回復基調



- ・ 総資産 6,408百万円（前期比 193百万円減）
- ・ 流動資産 2,692百万円（ 同 153百万円減）
- ・ 固定資産 3,717百万円（ 同 40百万円減）
- ・ 流動負債 2,786百万円（ 同 38百万円増）
- ・ 固定負債 1,547百万円（ 同 119百万円減）
- ・ 純資産 2,075百万円（ 同 112百万円減）

2025/6期末

（百万円）

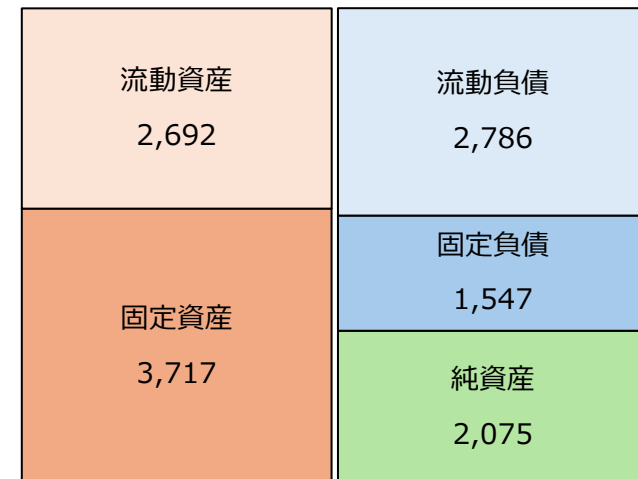


総資産 6,601

自己資本比率
33.1%

2026/6期 1Q

（百万円）



総資産 6,408
(△193)

自己資本比率
32.4%

・ 自己資本比率は前期末33.1%から32.4%へ0.8%減

(百万円)

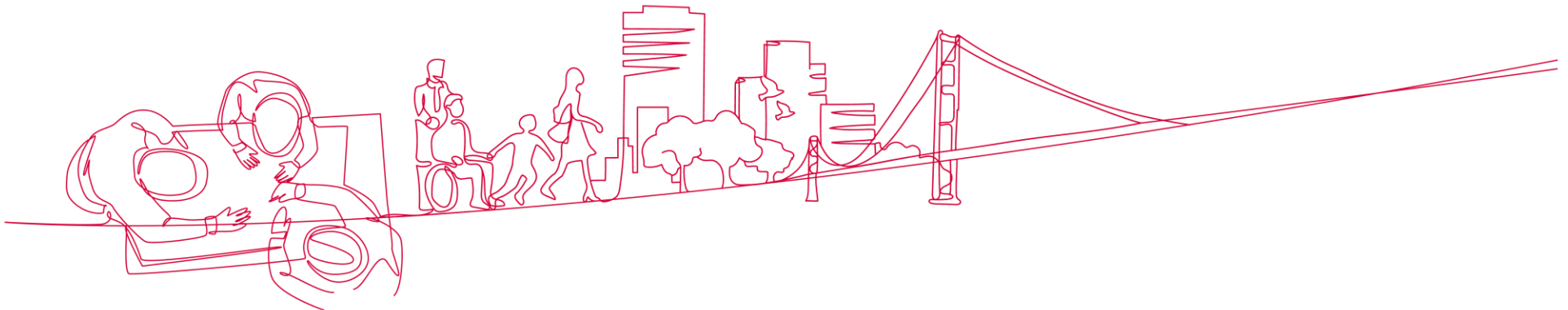
	2025/6期 期末	2026/6期 第1四半期	増減額
流動資産	2,845	2,692	△153
(主な内訳)			
現金及び預金	754	456	△298
受取手形等及び売掛金	1,777	1,992	215
原材料及び貯蔵品	33	31	△2
固定資産	3,756	3,717	△40
(主な内訳)			
有形固定資産	1,471	1,460	△11
無形固定資産	2,035	1,941	△94
内、のれん	1,983	1,894	△89
投資その他資産	251	316	65
資産合計	6,601	6,408	△193

※のれんは、単体計上分を含む

	2025/6期 期末	2026/6期 第1四半期	増減額
流動負債	2,748	2,786	38
(主な内訳)			
支払手形及び買掛金	756	621	△135
短期借入金	0	600	600
1年内返済予定長期借入金	391	388	△4
リース債務（流動）	11	12	2
固定負債	1,666	1,547	△119
(主な内訳)			
長期借入金	1,313	1,191	△123
リース債務（固定）	26	30	4
負債合計	4,414	4,333	△81
純資産	2,188	2,075	△112
負債・純資産合計	6,601	6,408	△193

ネットDEレシオ	0.45	0.85	0.40
自己資本比率	33.1%	32.4%	-0.8%

- 2026年6月期 第1四半期 業績ハイライト
- 2026年6月期 通期業績予想
- 今後の取り組み
- Appendix



・ 通期の業績予想に変更はありません

(百万円)

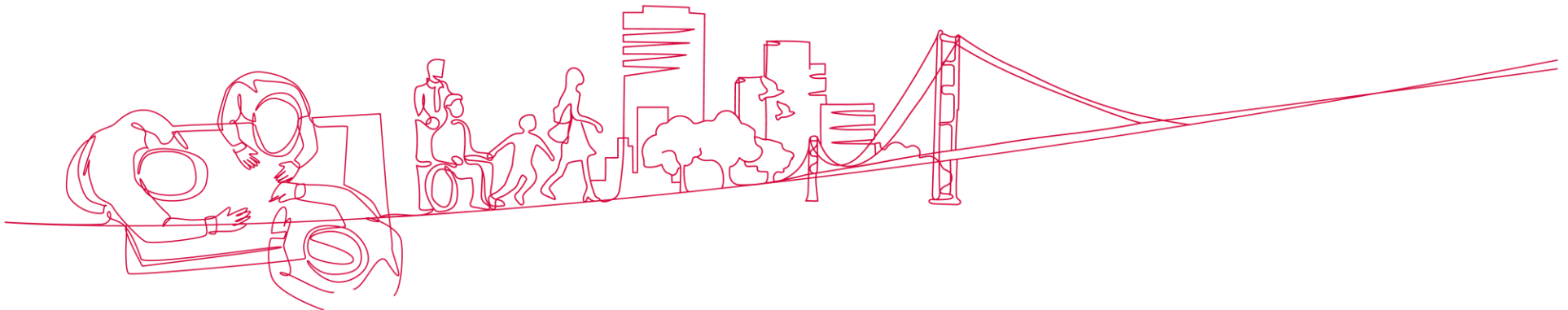
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2025/6期 (A)	13,007	472	444	168
2026/6期 (B)	13,500	540	530	200
増減額 (B－A)	493	68	86	32
増減率 (%)	3.8	14.4	19.3	18.9

※10月1日にグループに加入した株式会社未来政策研究所の当期業績への影響は軽微と考えておりますが、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

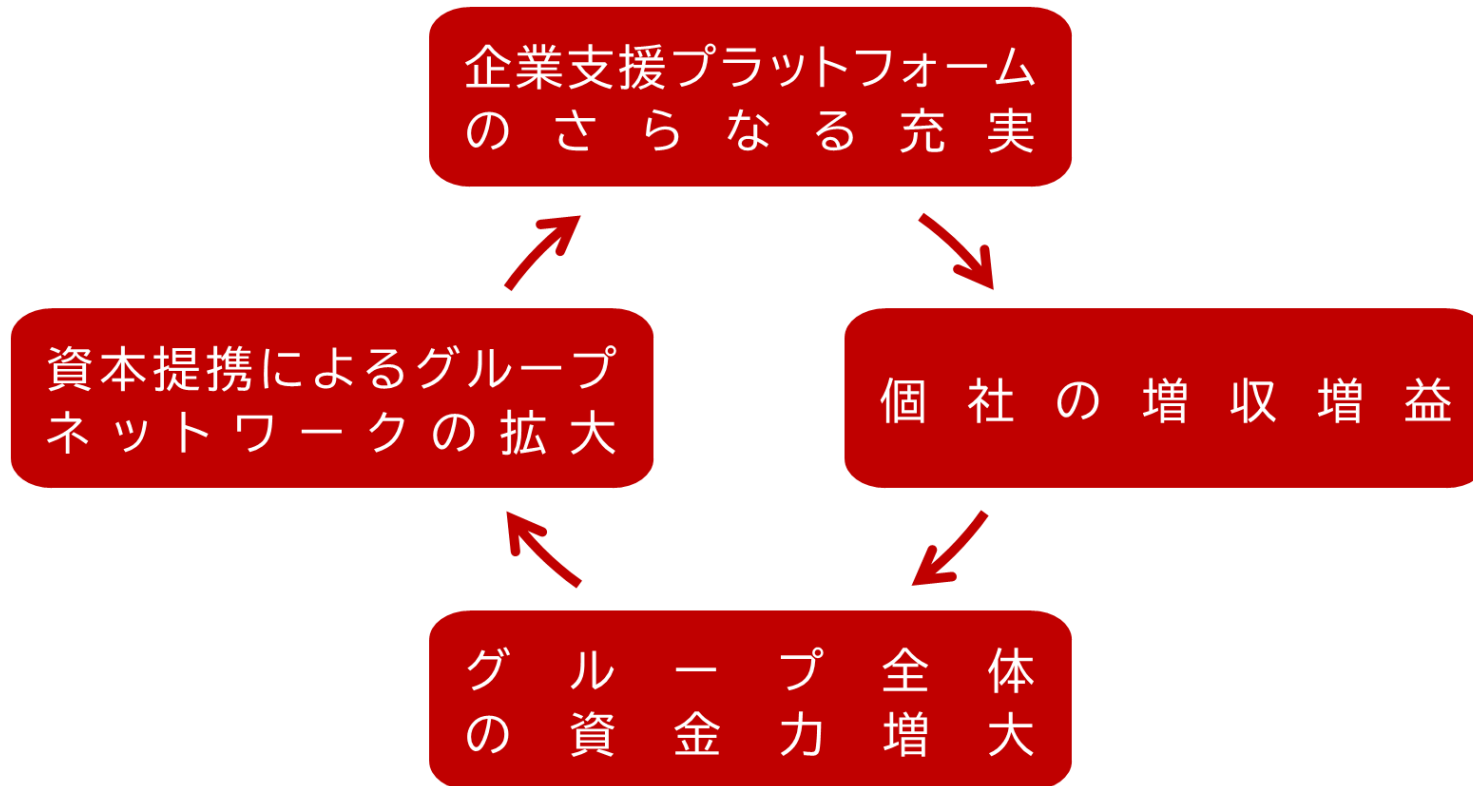
※新たなM&Aによる影響は考慮しておりません

※ガソリン税の暫定税率が廃止されれば、公共事業費は縮小方向に圧力がかかり、特に地方・災害対応型のインフラ整備が停滞する可能性が高いため、売上高のオーガニック成長は5億円程度を見込んでおります

- 2026年6月期 第1四半期 業績ハイライト
- 2026年6月期 通期業績予想
- 今後の取り組み
- Appendix



メイホーグループの成長サイクルを表すのが「弾み車」です
回転するほど、グループの資金力・ネットワークが拡大し、増収増益企業の共創に繋がる好循環を生み出す様子を表しています



※弾み車は、ジム・コリンズ著、「ビジョナリーカンパニー 弾み車の法則」で紹介されたフレームワーク
※当社グループの弾み車は事業の拡大に応じて適時見直しを行っており、上記は2025年7月改訂

◆ 中小企業の解決すべき課題

経営者の高齢化と事業承継問題	人材・資源の不足	デジタル化の遅れ	生産性の低さ
外部環境変化への対応力不足	資金調達の制約	地域経済と密着しすぎた構造	海外展開・輸出力の弱さ

◆ メイホーグループの成長戦略

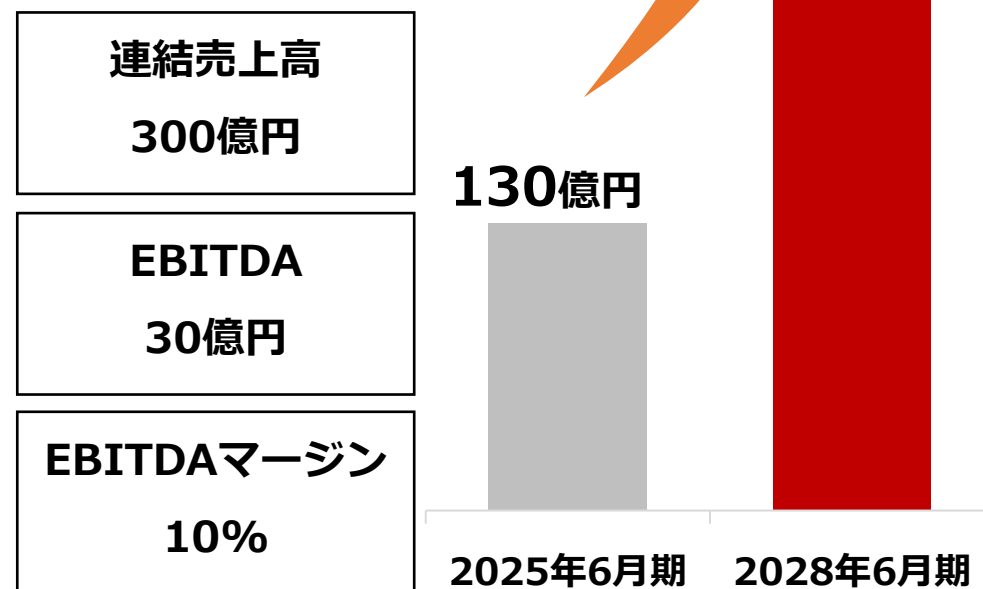
- 非連続な成長を実現する
従業員承継型M&Aの推進
- 各企業のオーガニック成長を後押しする
企業支援プラットフォームの提供

◆ メイホーサーティービリオンドライブ

中小企業と共に地域から日本を再起動する

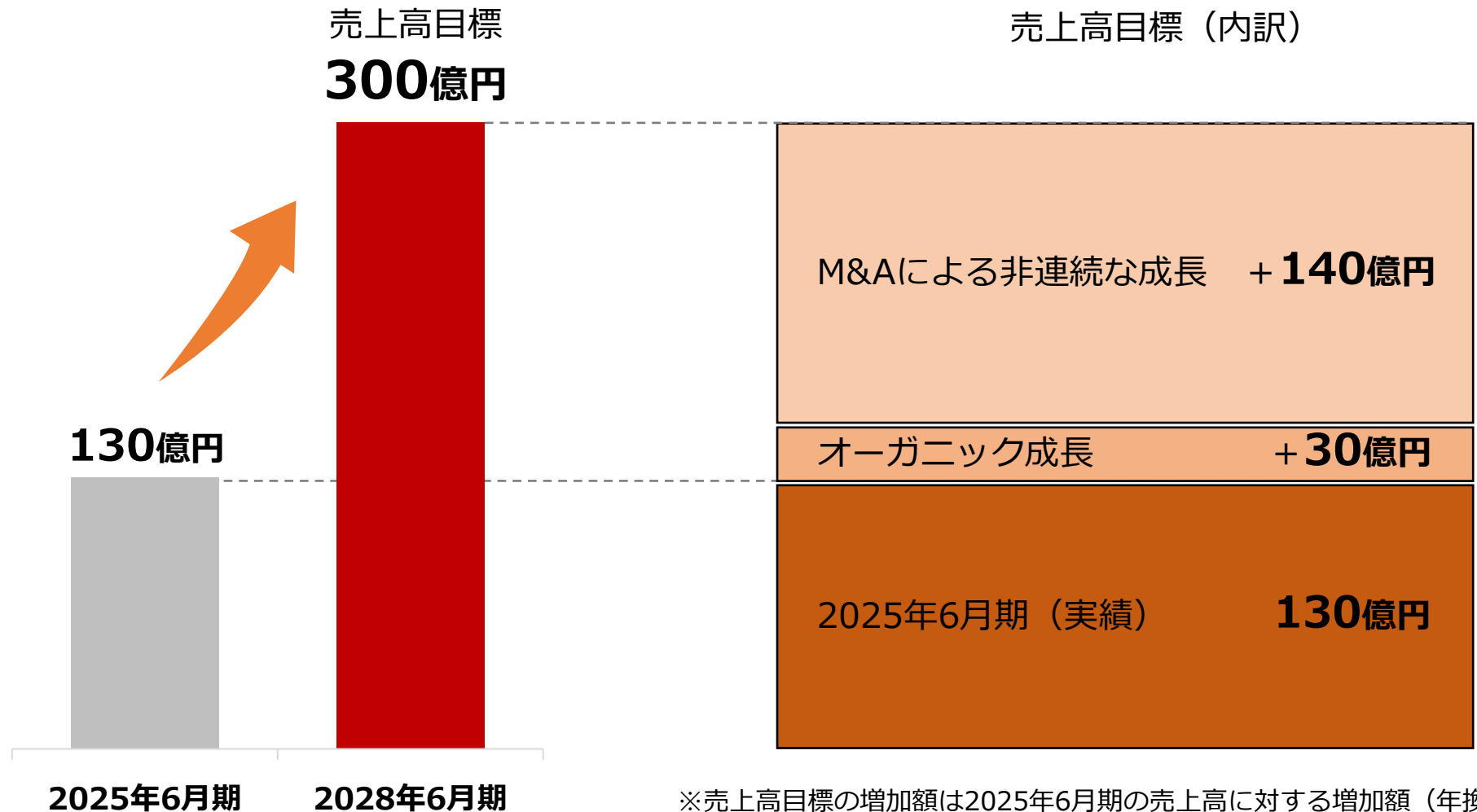
人・企業・地域の「つながり」を価値と捉え
経営支援型M&Aと経営哲学の共有を通じて
持続可能な地域創生モデルを築く

300億円

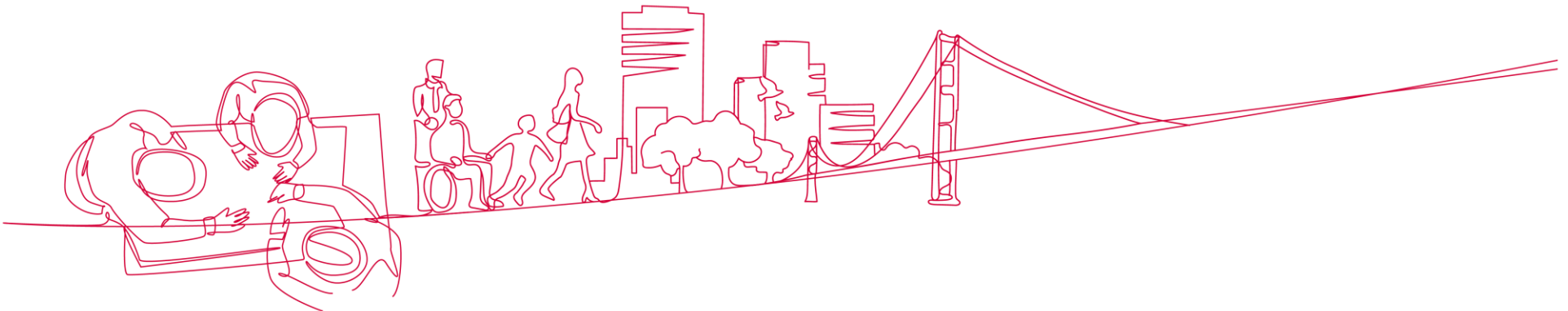


※中期経営計画の詳細につきましては、中期経営計画 2026-2028（メイホーサーティービリオンドライブ）をご参照ください。

2028年6月期 連結売上高300億円を目指す



- 2026年6月期 第1四半期 業績ハイライト
- 2026年6月期 通期業績予想
- 今後の取り組み
- Appendix



事業セグメント別業績
&
トピックス

2026年6月期 第1四半期 事業セグメント別業績

・ 建設事業は一時的に下振れ、他の3事業は堅調に推移

(百万円)

事業セグメント	売上高			営業利益			営業利益増減額の 主な変動要因
	25/6期1Q	26/6期1Q	増減額	25/6期1Q	26/6期1Q	増減額	
建設関連サービス	798	801	3	△12	29	41	・ 前期工事損失引当金を計上も 今期は戻し入れが発生 ・ ノース技研ののれん償却完了
人材関連サービス	884	974	90	60	67	7	・ 2025年5月に加入したメイホーアークス（旧 ナスキーキャリア）の寄与 ・ 技術者派遣、警備が好調
建設	975	566	△409	39	△94	△133	・ 大阪・関西万博の期間中、今田建設で地下鉄関連工事の制限
介護	214	232	18	35	28	△8	・ デイサービスの稼働率順調 ・ 住宅型有料老人ホームの減価償却増 ・ 社会保険の適用拡大による人件費増
全社調整（差引）	△0	△1	－	△159	△155	－	
連結	2,872	2,572	△299	36	△125	△89	

当社グループは、これまで中小企業の経営改善を通じて、地域創生の旗手たらんと努めてまいりました

さらにこのたび、**地域創生のシンクタンク**として「未来政策研究所」をグループに迎え入れました

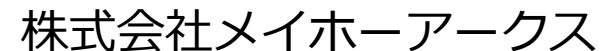
これにより当社グループは、**地域創生における構想力と実践力**の双方を兼ね備えた体制を確立いたしました



- 変更前

10/1
より

変更後



メイホーグループについて

増収増益企業を共創するネットワークの拡大を通じて
一人ひとりがしあわせを実感できる社会を創造する



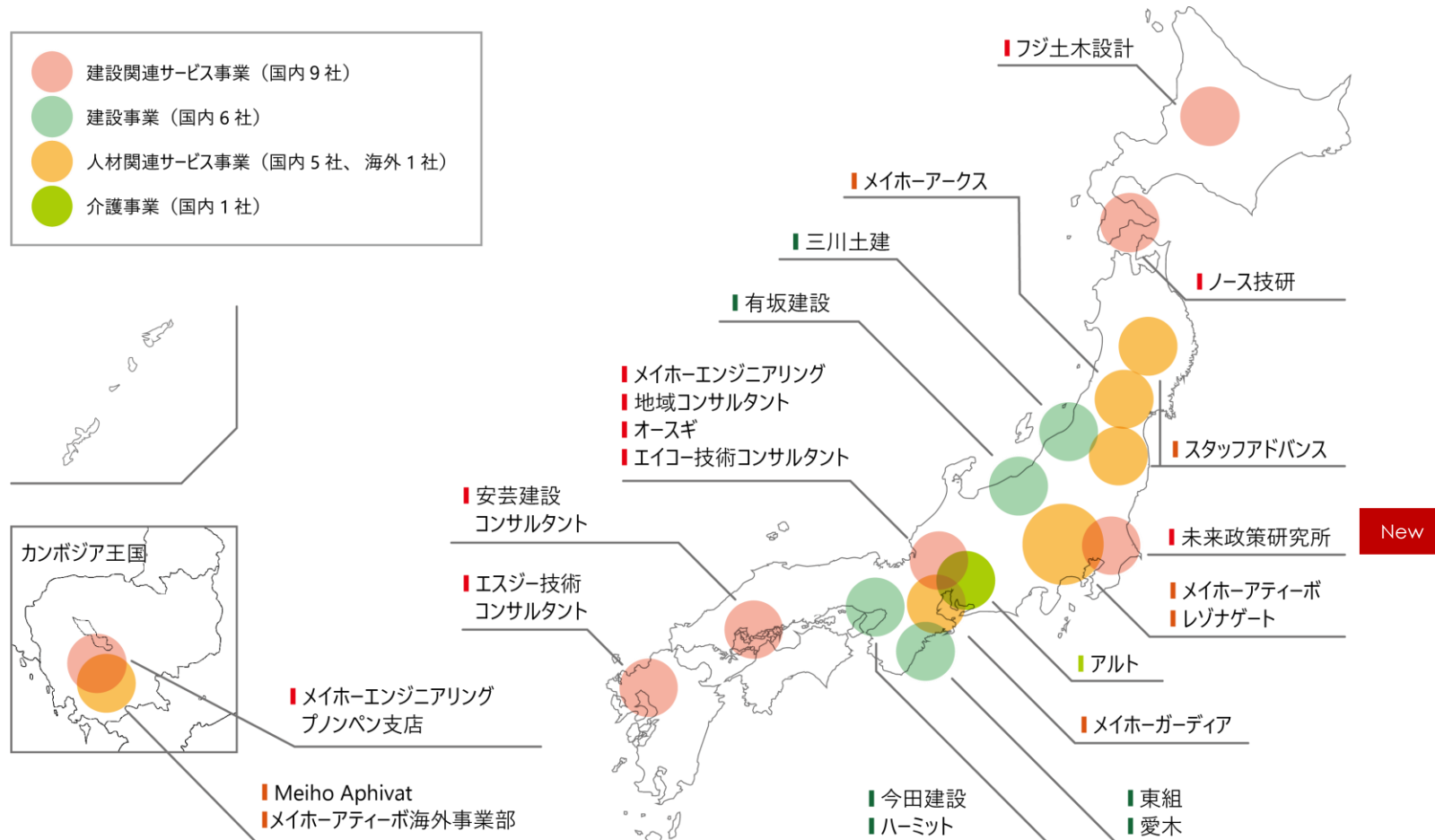
Mの三本柱は、名峰/明峰（明るい峰）を表す山や人の姿を表現しています。

ロゴには「人・企業・社会」、「中小企業・仲間・地域」の繋がりを大切にする思いが込められています。

会社名	株式会社メイホーホールディングス
本店所在地	岐阜県岐阜市吹上町6丁目21番
事業の内容	建設コンサルタント業、補償コンサルタント業、測量業、地質調査業、人材派遣事業、警備業、建設業、介護事業等を営む子会社等の経営管理及びこれに附帯する業務
代表者	代表取締役社長 尾松 豪紀 （おまつ ひでとし）
設立	2017年2月1日（創業 1981年7月25日、株式会社メイホーエンジニアリングとして）
資本金	447百万円
決算期	6月末日
連結業績	売上高13,007百万円、経常利益444百万円（2025年6月期実績）
従業員数（連結）	1,244名（2025年6月末現在）
グループ会社数	23社（当社含む、2025年10月1日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（グロース市場）、名古屋証券取引所（ネクスト市場）
証券コード	7369
発行済み株式数	4,696,800株

グループネットワークの状況

- ・ グループネットワークを構成する企業は現在23社（当社含む、10/1時点）
- ・ 2025年10月1日より、未来政策研究所がグループに加わりました

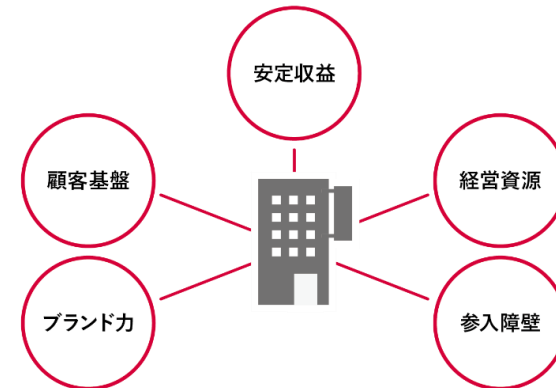


- 実績があり成長可能性のある企業をグループ加入候補企業としています

資本提携の基本方針

資本提携の基本方針		資本提携対象企業の5つの特長	
目的	企業支援プラットフォームのさらなる充実と地域企業の存続	ブランド力	特定の地域で実業を営んでいる
対象とする企業	将来不安を感じている中小企業 成長意欲の高い中小企業	参入障壁	許認可事業である
対象とする企業規模	中小企業～中堅企業	顧客基盤	公共関連事業の元請け企業である
保有方針	長期(売却を前提としない)	経営資源	従業員・技術的リソースを持つ
		安定収益	健全な経営を行っている

候補企業の選定方針



グループ加入時点で安定した収益が見込めるとともに、
グループ加入後は、経営支援により個社の成長を目指します

(参考) 資本提携による業績の見方

- 資本提携により仲介手数料等の一時費用やのれん償却が発生するため、一時的に収益が圧迫されますが、**のれん償却後はグループ収益の底上げにつながります**
- 建設関連サービス事業、建設事業は、単年度業績に着目した場合、受注時期、工期にコントロールできないズレが発生することがありますが、**複数年のトレンドでみることで年度ごとの業績の偏りは平準化されます**



メイホーグループは、企業支援プラットフォームを提供する当社を中核とし、安定した業績を見込むことのできる、建設関連サービス、建設、人材関連サービス、介護を提供する地域企業群によりネットワークを構成しています



グループネットワーク拡大の歩み①

加入年月		会社名	所在地	事業内容
2006年6月	—	アスカコンサルタント	岐阜県高山市	建設コンサルタント等 メイホーエンジニアリングに合併
2007年9月	—	第一コンサルタント	岐阜県大垣市	建設コンサルタント等 メイホーエンジニアリングに合併
2008年9月	—	ユニバーサル	熊本県熊本市	建設コンサルタント等 メイホーエンジニアリングに合併
2015年4月	—	ソイルテクノス	大阪府豊中市	地盤改良 メイホーエクステックに合併
2015年6月	—	国土コンサルタント	岐阜県大垣市	建設コンサルタント等 メイホーエンジニアリングに合併
2015年12月		スタッフアドバンス	福島県二本松市	人材派遣（製造業）
2016年6月		オースギ	滋賀県彦根市	建設コンサルタント等
2016年6月		アルト	岐阜県岐阜市	通所介護、住宅型有料老人ホーム
2016年8月	—	新和工業	東京都中央区	人材派遣（プラント） メイホーアティーボに合併
2017年6月		愛木	愛知県日進市	法面工事、緑化

グループネットワーク拡大の歩み②

加入年月		会社名	所在地	事業内容
2017年6月		東組	三重県尾鷲市	建設業（国道維持管理等）
2017年6月		メイホーガーディア （旧 第一防災）	岐阜県岐阜市	警備業（施設、交通誘導）
2017年12月		エイコー技術コンサルタント	福井県敦賀市	建設コンサルタント等
2018年4月		地域コンサルタント	岐阜県恵那市	建設コンサルタント等
2018年9月		エスジー技術コンサルタント	佐賀県佐賀市	建設コンサルタント等
2021年10月		ノース技研	北海道函館市	建設コンサルタント等
2021年10月		有坂建設	新潟県上越市	建設業
2022年7月		安芸建設コンサルタント	広島県広島市	建設コンサルタント等
2023年1月		三川土建	新潟県東蒲原郡阿賀町	建設業
2023年7月		フジ土木設計	北海道旭川市	建設コンサルタント等

グループネットワーク拡大の歩み②

加入年月		会社名	所在地	事業内容
2023年11月		今田建設・ハーミット	大阪府大阪市	建設業（地下鉄関連施設工事等）
2024年2月		レゾナゲート	東京都千代田区	人材派遣（オフィス等）
2025年5月		メイホーアークス （旧 ナスキーキャリア）	宮城県仙台市	人材派遣（建設）
2025年10月		未来政策研究所	東京都品川区	専門調査・研究・地域活性化事業等

※事業譲受・事業譲渡を除く

※ 2025年10月より、第一防災はメイホーガーディアに、ナスキーキャリアはメイホーアークスに商号変更

将来の見通しに関する注意事項

- ・本資料における業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- ・本資料に含まれる数値等は、当社グループの経営成績及び財政状態に関して、適切な理解を促進することを目的として開示しており、監査法人による監査またはレビューの対象ではないことにご留意ください。

IR活動に関するお問い合わせ先

株式会社メイホーホールディングス
経営企画部

お問い合わせフォーム

<https://www.meihogroup.com/contact/>



SNS広報アカウント（X,旧Twitter）：@meihogroup_X